

# 27J-am04

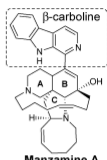
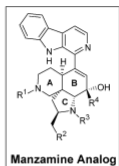
新規抗マラリア剤の開発を指向したマンザミンA類縁体の合成研究

○十亀 伸哉<sup>1</sup>, 大房 俊行<sup>1</sup>, 徳丸 和之<sup>1</sup>, 荒井 秀<sup>1</sup>, 西田 篤司<sup>1</sup> (千葉大院薬)

【目的】マンザミンAは強力な抗マラリア活性を有する海洋産アルカロイドである。今回、マンザミンAのアナログ合成によりその活性発現に必須である構造を特定し、より単純な構造を有する抗マラリア剤の開発を目的とする。

【方法・結果】当研究室で達成されたマンザミンA形式全合成ルートに従い、ラセミ体1よりフランイミニウムカチオンスピロ環化反応を鍵反応として、マンザミンAのβカルボリン環、ABC環を有したマンザミンアナログ4及び5の合成に成功した (**Scheme 1**)。

現在、光学活性体のマンザミンアナログの合成を検討中である。今回、合成したアナログの抗マラリア活性についても報告する。



**Scheme 1**

